

一〇七一番

山やまのはに いさよふ月つきを 出いでむかと 待まちつつ
居をるに 夜よそふけにける

一〇七二番

明あすの夕よひ 照てらむ月夜つきよは 片かた寄よりに 今こ夜よひに寄より
て 夜長よながからなむ